

1階 「交流・コミュニティフロア」

施設のエンタランスとなる1階は、多世代のふれあいを創出する「交流・コミュニティフロア」とします。ゆったりと過ごすことのできるラウンジ機能、他フロアに関心をもってもらえるような展示機能、児童図書や子育て支援等の図書コーナー、新しいモノやコトを生み出す市民活動支援センターと公民館がつながり、市民の新しい交流の場となります。

- (凡例)
- 多機能
 - 貸室機能
 - 施設運営機能
 - トイレ・倉庫・階段
 - サポート機能
 - 改修部分を示す

保育室：
保育事業、保育活動団体などが利用する際に使用。公民館利用のない時間は、多用途に利用

おはなしコーナー：
おはなし会などの催しを行う。催しがない時は、乳幼児を連れた親子の利用などを想定

図書コーナー「えほん」「ものがたり」：
保育室での利用も踏まえ、「えほん」コーナーを隣接させ図書資料を相互利用しやすい排架計画。子どもたちが手に取りやすい低書架。表紙をみせる棚など家具を工夫し、子どもたちにとって魅力的な本の空間に

図書コーナー「貸出・レファレンス」「返却」カウンター：
カウンターをふたつに分け、貸出、レファレンスに特化させることでサービスの向上を図る。貸出確認ゲートに近い配置とし、来館者の入退館時のトラブルに即時対応できるように配慮

フリースペース1：
フロア全体が見渡せ、案内性のよいエンタランス。オープンな雰囲気、気軽に立ち寄れる空間に

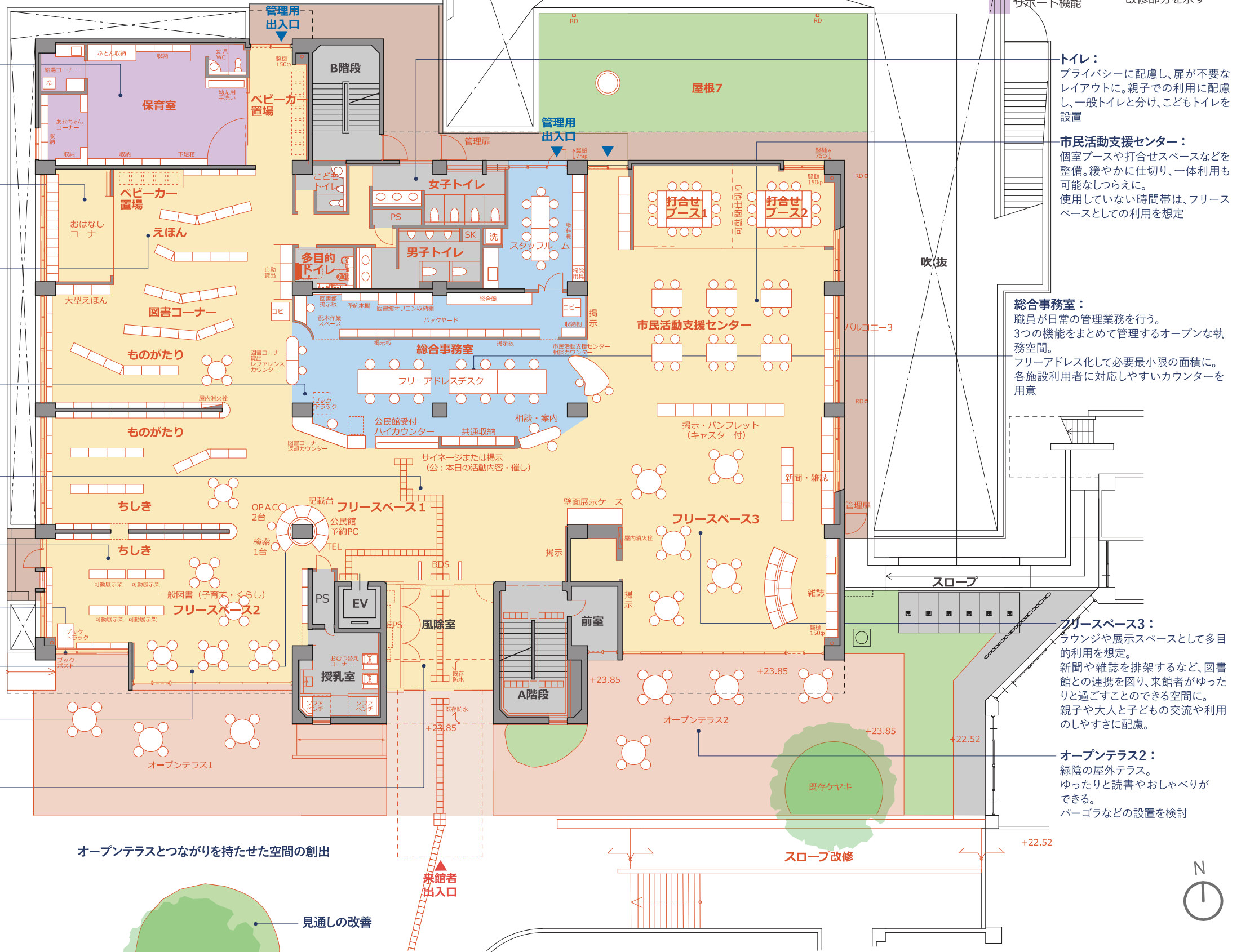
図書コーナー「ちしき」：
フリースペース1・2に近い位置に排架し、大人が児童図書にふれるきっかけづくりを提案

ブックポスト：
閉館時、休館時の資料返却用ポスト。室内側に専用ブックトラック対応とする

図書検索・公民館予約コーナー：
情報端末などを集約させ、案内性に配慮。職員が対応しやすい配置

フリースペース2：
子育てやくらし関連等の一般図書を排架するなど図書館との連携を図り、親子連れの来館者に配慮。

風除室：
明るく入りやすい雰囲気に改修



トイレ：
プライバシーに配慮し、扉が不要なレイアウトに。親子での利用に配慮し、一般トイレと分け、子どもトイレを設置

市民活動支援センター：
個室ブースや打合せスペースなどを整備。緩やかに仕切り、一体利用も可能な仕分に。使用していない時間帯は、フリースペースとしての利用を想定

総合事務室：
職員が日常の管理業務を行う。3つの機能をまとめて管理するオープンな執務空間。フリーアドレス化が必要最小限の面積に。各施設利用者に対応しやすいカウンターを用意

フリースペース3：
ラウンジや展示スペースとして多目的利用を想定。新聞や雑誌を排架するなど、図書館との連携を図り、来館者がゆったりと過ごすことのできる空間に。親子や大人と子どもの交流や利用のしやすさに配慮。

オープンテラス2：
緑陰の屋外テラス。ゆったりと読書やおしゃべりができる。パーゴラなどの設置を検討

オープンテラスとつながりを持たせた空間の創出

見通しの改善

2階 「静かな会議・学習フロア」

多目的室、和室、スタディコーナーを中心とした2階は、「静かな会議・学習フロア」とします。会議や学習会、教養活動など、静かに学習し、落ち着いて学びあえる環境をつくとともに、個人での学習もできる環境を整備します。

- (凡例)
- 多機能
 - 施設運営機能
 - 貸室機能
 - トイレ・倉庫・階段
 - 改修部分を示す

オープンテラス：

近隣の住宅に配慮し、使用上のルールを決めるなど運用面での対応を行い、屋外テラスとして活用を図る。ゆったりと読書やおしゃべりができる。

講座室：

講座など60人規模の催しを想定。

フリースペース：

市文化財や利用団体の作品展示の場として、また多目的室と一体的な利用など市民の活動スペース

スタディコーナー：

読書や学習活動ができるスペース。個人利用を中心に50席程度を用意

多目的室 5：

フリースペースとの境界をガラス移動間仕切りとし、一体的な利用が可能。

多目的室 2・3：

利用状況により、約半数を占める少人数利用を想定した部屋を追加

対面朗読室・兼録音室：

図書館が提供する対面朗読および音訳サービスのための部屋。遮音と吸音に配慮

図書館ボランティア室：

図書館サービスをサポートする方の準備スペース

和室：

茶道、日本舞踊をはじめ、靴を脱げる部屋として多用途に利用できる。東側と北側に面した落ち着いた雰囲気

多目的室 1：

40人程度。中規模の学習会や会議に使用。上部ハイサイドライト(明かりとり窓)を有効活用し特徴のある空間に改修

